

令和6年第7回小金井市教育委員会定例会議事日程

令和6年7月9日（火）

午後1時30分開会

第2庁舎8階 801会議室

日程	議 題	
第1		会議録署名委員の指名
第2	代処第12号	小金井市スポーツ推進委員の委嘱に関する代理処理について
第3	議案第19号	小金井市公民館企画実行委員の委嘱について
第4	報 告 事 項	1 令和6年第2回小金井市議会定例会について
		2 学校給食費の補助について
		3 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について
		4 水泳指導の外部委託について
		5 令和5年度文部科学省「次世代の学校・教育現場を見据えた先端技術・教育データの利活用推進事業」について
		6 「教育データのクロス分析による学級経営の改善・学力向上」に関するウェビナーについて
		7 その他
		8 今後の日程
第5	議案第20号	職員の分限処分について

代処第12号

小金井市スポーツ推進委員の委嘱に関する代理処理について

このことについて、小金井市教育委員会教育長に対する事務委任規則（昭和32年教育委員会規則第6号）第4条第1項の規程により、別紙のとおり代理処理したので、同条第2項の規程に基づきその承認を求める。

なお、本案件は小金井市スポーツ推進委員の委嘱を行う必要が生じたが、教育委員会の議決すべき事項で特に緊急を要し、教育委員会を開催する時間的余裕がないため、別紙のとおり代理処理したものである。

令和6年7月9日提出

小金井市教育委員会
教育長 大熊 雅士

(写)

代理処理書

小金井市スポーツ推進委員選任要綱（平成7年2月1日制定）に規定する小金井市スポーツ推進委員の委嘱手続きを行う必要が生じたが、小金井市教育委員会の議決すべき事項で特に緊急を要し、教育委員会を開催する時間的余裕がないことから、小金井市教育委員会教育長に対する事務委任規則（昭和32年10月16日教育委員会規則第6号）第4条第1項の規定により、下記のとおり代理処理する。

令和6年6月3日

小金井市教育委員会
教育長 大熊 雅士

記

1 小金井市スポーツ推進委員候補者

No.	氏名	推薦団体
1	村上 直也	公益財団法人小金井市体育協会
2	山田 天斗	

2 委員任期

令和6年6月6日から令和8年3月31日まで

議案第19号

小金井市公民館企画実行委員の委嘱について

小金井市公民館条例第21条に定める小金井市公民館企画実行委員(第28期)を、同条例第22条の規定に基づき別紙のとおり委嘱する。

令和6年7月9日提出

小金井市教育委員会
教育長 大熊 雅 士

(提案理由)

第27期小金井市公民館企画実行委員の任期が令和6年7月20日に満了となり、新たに第28期小金井市公民館企画実行委員を委嘱する必要があるため、本案を提出するものであります。

別紙

第28期小金井市公民館企画実行委員名簿

任期：令和6年7月21日から

令和8年7月20日まで

館名	氏名	立候補・推薦団体等	備考
本館	池田 正好	立候補	新任
	近江 淳	立候補	2期
	荻込 美津代	立候補	2期
	菅沼 七三雄	立候補	2期
	武藤 美奈子	立候補	2期
貫井南分館	大木 健至	立候補	2期
	齊藤 美恵子	立候補	2期
	鈴木 民子	立候補	新任
	根岸 和幸	立候補	新任
	持田 良子	立候補	新任
	山下 寛	立候補	新任
東分館	小畑 和子	立候補	新任
	城戸 和子	立候補	新任
	小林 昭子	立候補	新任
	舟川 宜仁	立候補	2期
	渡部 靖	立候補	2期
緑分館	植竹 万里子	立候補	新任
	大蔵 芳夫	立候補	2期
	川上 由美	立候補	新任
	後藤 愛子	立候補	2期
	寺沢 千代子	立候補	新任
	宮本 一	立候補	2期
貫井北分館	岸川 公一	立候補	新任
	塚田 昭子	立候補	2期
	土屋 文雄	立候補	2期
	原 幸恵	立候補	2期
	本多 隆志	立候補	3期
	森 千尋	立候補	3期

議案第19号資料

第28期小金井市公民館企画実行委員概要

- 1 人数 28人
- 2 任期 令和6年7月21日～令和8年7月20日
- 3 男女別数 男性13人(46.4%)、女性15人(53.6%)
- 4 平均年齢等 平均69.1歳(男性72.4歳、女性66.2歳)
最高年齢 82歳
最低年齢 48歳

年代別男女別人数

	男性	女性	合計
40歳～49歳	0人	1人	1人
50歳～59歳	0人	2人	2人
60歳～69歳	3人	5人	8人
70歳～79歳	9人	7人	16人
80歳以上	1人	0人	1人
合計	13人	15人	28人

- 5 新任・再任別 新任 14人(50.0%) 再任 14人(50.0%)

令和 6 年第 2 回小金井市議会定例会（教育委員会関係）

学校教育部

NO	質問議員	会派	表題及び質問の具体的内容等
1	小林 正樹 議員	小金井市 議会公明 党	教育支援センターについて ①設置に向けた具体的な課題やスケジュールを明確にしないか ②基本構想について機能強化等の検討を行わないか
2	沖浦 あつし 議員	みらいの こがねい	第 5 次小金井市基本構想 前期基本計画 ①小学校の学区域 学区域調整（いわゆる三小特例）について 今後の学区域（全市域）の指針を問う ②中学校の部活動
3	遠藤 百合子 議員	自由民主 党・信頼 の小金井	和食のすすめ ①学校給食における米飯給食の回数を増やしていかないか ②米飯給食のお米を発芽玄米入り、あるいは分づき米に変えないか ③更に地場野菜と魚の多い献立にしているかないか SNS 犯罪被害を無くすために ①児童生徒への危険性の周知徹底を ②小金井警察との連携は
4	清水 がく 議員	街の仲間 たち	市立小中学校の新聞の教育委員会一括契約について ①市内市立小中学校における新聞の契約状況及び購読状況について ②一括契約における契約事務の軽減について ③各学校に新聞を配備することによる効果について
5	水上 洋志 議員	日本共産 党小金井 市議団	緑小学校の改修・増築計画の進捗状況と影響について
6	古畑 俊男 議員	子どもの 権利を守 る会	バーチャル教育空間「教育メタバース」について ①2か年目の手ごたえはどのようなものだったか。効果と検証について質したい。 ②教育支援においてバーチャル空間と現実空間との間で考えられることは何か。 ③実証事業が終了したが今後の展開について。 コミュニティースクール（学校運営協議会制度）について ①制度設置の背景 ②当市における学校と地域連携の経緯 ③今後の取組
7	安田 けいこ 議員	生活者 ネット ワーク	子ども・若者の地域の居場所を増やそう ①全ての子どもにとっての居場所となる学校づくりを
8	岸田 正義 議員	みらいの こがねい	重層的な不登校支援について問う ①現状の取組みについて ②特異な才能のある児童生徒（ギフテッド）について ③ディスレクシアについて ④進路相談について
9	河野 麻美 議員	自由民主 党・信頼 の小金井	学校行政について小金井市の現状を問う ①小学校入学に係る事務について ②学校体育館について
10	渡辺 大三 議員	子どもの 権利を守 る会	不登校の児童生徒の健康診断について ①令和 5 年度における不登校の発生状況、健康診断の受診状況 ②受診しない理由の把握について ③受診しやすい環境整備、受診をうながす方法のさらなる工夫について
11	森戸 よう子 議員	日本共産 党小金井 市議団	災害対策の強化について、引き続き問う ①給水支援について

※ 質問の通告はあったが、当日質問をされなかったものは除く。

生涯学習部

NO	質問議員	会派	表題及び質問の具体的内容等
1	小林 正樹 議員	小金井市 議会公明 党	名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年について ①各事業の進捗状況と広報、今後の計画について ②第三小学校での植樹とその他の市立小中学校への植樹について ③今後の苗木の供給方針について ④「小金井さくらの日」の制定について
2	五十嵐 京子 議員	自由民主 党・信頼 の小金井	知ってほしい、小金井市の歴史「御門訴事件」 ①市民と一緒に歴史を語り継ぐために。 ②子供たちや多くの市民に町の歴史を知ってもらうために。 ③近隣市との連携の現状と今後
3	水谷 たかこ 議員	小金井を おもしろ くする会	コンビニエンスストアとの協定で市民の利便性向上を ①図書館の本の受け取りについての検討状況は

※ 質問の通告はあったが、当日質問をされなかったものは除く。

報告事項2資料

学校給食費補助金事業概要

1 目的

物価高騰による学校給食費への影響等が懸念されていることから、これまでどおりの栄養バランスや量を保てるよう子育て世帯を支援し、保護者負担を増やすことなく、学校給食の円滑な実施に資することを目的とする。

2 補助対象

(1) 対象校

市立小・中学校

(2) 対象期間

令和6年7月1日から令和7年3月31日まで

(3) 補助額

ア 小学校 1食当たり42円

イ 中学校 1食当たり48円

3 補助額の根拠

給食の代表的な献立において、現時点の食材費調達額による1人当たりの平均積算額を試算し、現行の保護者負担額との差額を1食当たりの補助額とする。

	現行の1食当たりの保護者負担額 (A)	現在の食材費調達額による1食当たりの平均積算額 (B)	差額 (B) - (A)
小学校 (中学年)	278円	319.5円	41.5円
中学校	333円	380.2円	47.2円

※ 差額の円未満を切り上げ、1食当たりの補助額とする。

4 予算額

(1) 歳入

東京都公立学校給食費負担軽減事業補助金 25,269千円

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 25,271千円

(2) 歳出

学校給食費補助金

ア 小学校 35,965千円

イ 中学校 14,575千円

5 令和6年度学校給食標準献立1食当たりの給食費 積算表

(1) 小学校（中学年）

（単位：円）

	標準献立内容	1食当たりの試算額	1食当たりの保護者負担額（278円）との差額
1	牛乳、ジャージャー麺、中華風卵スープ、清見オレンジ	292.7	14.7
2	牛乳、ミルクパン、鮭フライ、ゆで野菜、コーンチャウダー、清見オレンジ	331.3	53.3
3	牛乳、カレーライス、コールスローサラダ、いちご	352.6	74.6
4	牛乳、ご飯、肉じゃが、小松菜とねぎのみそ汁	301.4	23.4
平均		319.5	41.5

(2) 中学校

（単位：円）

	標準献立内容	1食当たりの試算額	1食当たりの保護者負担額（333円）との差額
1	牛乳、ジャージャー麺、中華風卵スープ、清見オレンジ	355.5	22.5
2	牛乳、ミルクパン、鮭フライ、ゆで野菜、コーンチャウダー、清見オレンジ	409.4	76.4
3	牛乳、カレーライス、コールスローサラダ、いちご	395.9	62.9
4	牛乳、ご飯、肉じゃが、小松菜とねぎのみそ汁	359.8	26.8
平均		380.2	47.2

※ 給食の代表的な献立に係る1食当たりの平均積算額を試算し、現行の保護者負担額との差額を積算した。

※ 1食当たりの平均積算額に、現時点の食材費調達額の単価を用いて算出した。

※ 小学校は、平均的な中学年で積算した。

6 類似団体・近隣市における給食費(物価高騰分のみ)の補助状況

	予算措置時期	算定方法
小金井市	6月補正 (令和6年7月から)	給食費の約14.8%
A市	当初予算 (令和6年4月から)	1食当たり30円を補助
B市	当初予算 (令和6年4月から)	給食費の約15%
C市	当初予算 (令和6年4月から)	給食費の約20%
D市	当初予算 (令和6年4月から)	給食費の約12.4%
E市	当初予算 (令和6年4月から)	給食費の約8%
F市	当初予算 (令和6年4月から)	給食費の約15%
G市	当初予算 (令和6年4月から)	給食費の約15.4%
H市	当初予算 (令和6年4月から)	給食費の約6.7%
I市	当初予算 (令和6年4月から)	給食費の約19.6%

※令和6年4月16日時点の調査による。今後変更の場合もあり。

令和5年度 次世代の学校・教育現場を見据えた先端技術・教育データの利活用推進
(最先端技術及び教育データ利活用に関する実証事業)

【研究テーマ】
教育メタバースによる不登校児童生徒の社会的自立支援効果の検証

<業務委託成果報告書>

2024年3月28日

教育メタバース実証研究委員会
(事務局:富士ソフト株式会社)

1: 取組概要

2: 2023年度の取組

3: 先端技術を活用した効果

4: まとめ

1:取組概要

2:2023年度の取組

3:先端技術を活用した効果

4:まとめ

1: 取組概要(実証研究概要)

■実証研究テーマ

教育メタバースによる不登校児童生徒の社会的自立支援効果の検証

■取り組み概要

不登校の子どもたちの意欲を高め、社会的自立を促すために既往業務からさらに以下の点についての取り組みを実施する

- 保護者の理解促進: 保護者アプローチの強化
- 体験プログラムの充実: 開講日とカリキュラム内容の拡張及び工夫
- 教育メタバースの機能強化: コミュニケーションを活発化させる機能と情報伝達を円滑にする機能の搭載

後ほど補足

■期待される成果や知見

- ・教育メタバースを活用することによる不登校児童生徒の社会的自立に対し、「学校居心地感尺度(※)」「自己肯定感尺度(※)」「KINDL®QOL尺度(※)」の改善によってその有用性を明らかにする
- ・「教育メタバースを活用した不登校支援モデル」としてとりまとめ、それを分かりやすい手引きとして整理し、全国に共有する

※)学校居心地感尺度: 学校(バーチャル空間)への適応感

※)自己肯定感尺度: 自分自身の在り方を概して肯定する気持ち

※)KINDL®QOL尺度: 心身の健康状態

■スケジュール

7月～9月: 運営準備、告知活動

10月～12月: 実証実験

1月～: 効果検証、取り纏め



1:取組概要(2022年度取組:教育メタバースの活用)

小金井市の不登校児童生徒を対象に、GIGA端末を用いて自身がアバターとなって通えるバーチャル空間を構築。実証期間は、2022年12月5日から翌1月30日とし、水・土日祝日を除く、計24日間とした。



●授業実施曜日

- ・月曜日
- ・火曜日
- ・木曜日
- ・金曜日

週4日、午前2コマ



小金井市の不登校の子供のための
多様な学びを実現するバーチャル空間

12月 2022						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月 2023						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※バーチャル空間には、富士ソフトが提供している既存の「FAMcampus」を活用/授業

不登校支援に教育メタバースを用いることの効果

<見えてきた成果>



子供たち

- ✓ 積極性が増す
- ✓ 対人関係の怖さが軽減する
- ✓ 生活にメリハリがつく



保護者

- ✓ 学びの場の選択肢/居場所になる
- ✓ 自身の不安/負担の軽減につながる



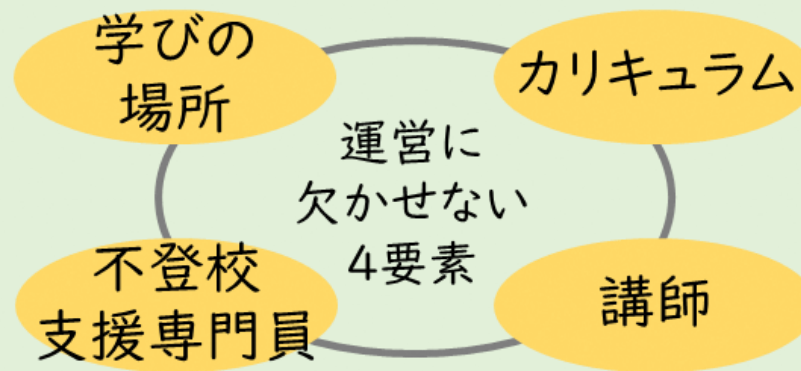
行政機関

- ✓ これまで支援が行き届かなかった子にも学びの場を提供することができる
- ✓ 勉強したい子が集まってくる

<今後取り組むべきこと>

運営に欠かせない4要素を意識しつつ
通いたくなる・楽しめる要素の充実が必要

- ①参加申込者数の増加
- ②出席の継続
- ③コミュニケーションの活発化



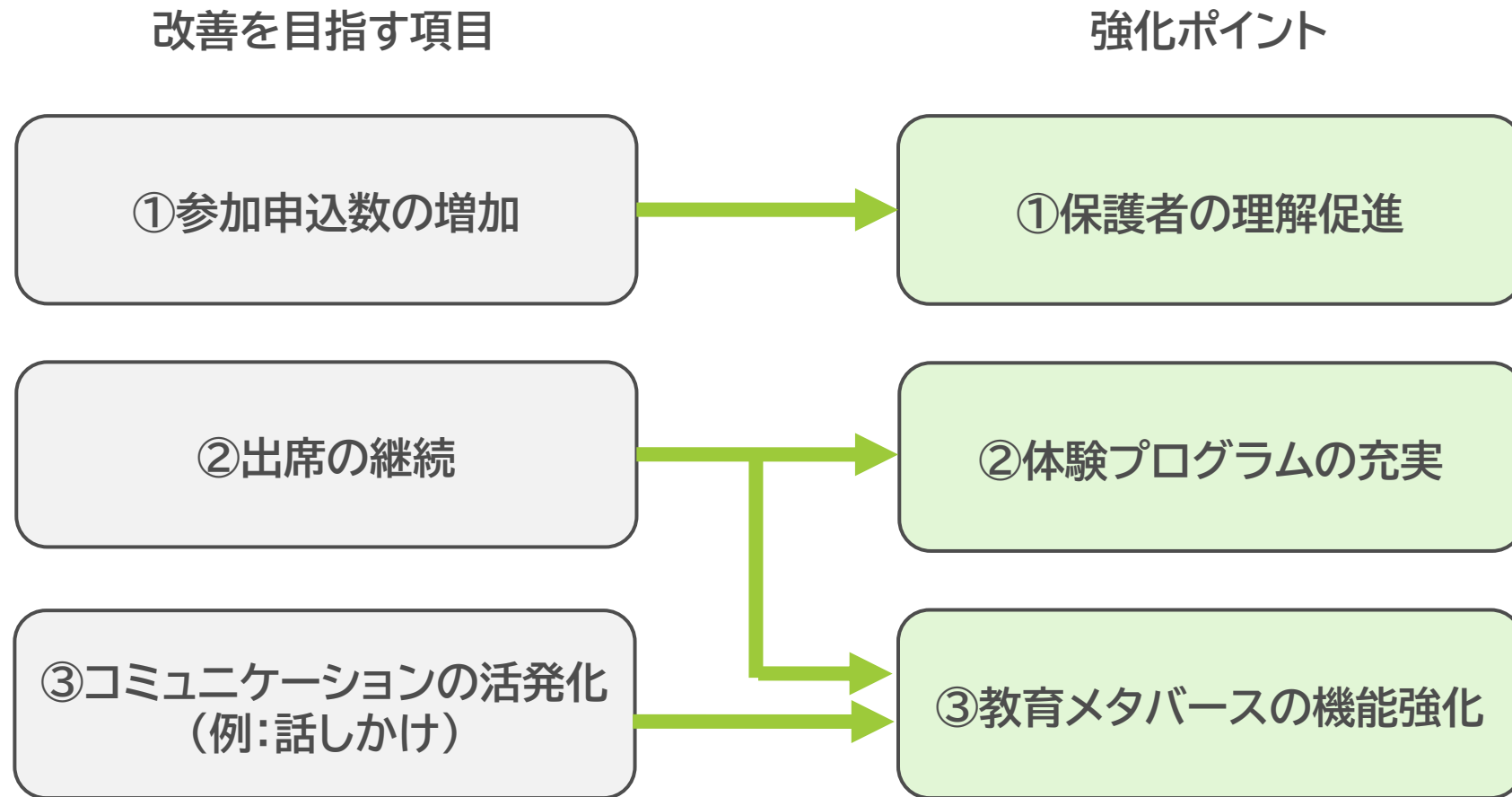
1:研究概要

2:2023年度の取組

3:先端技術を活用した効果

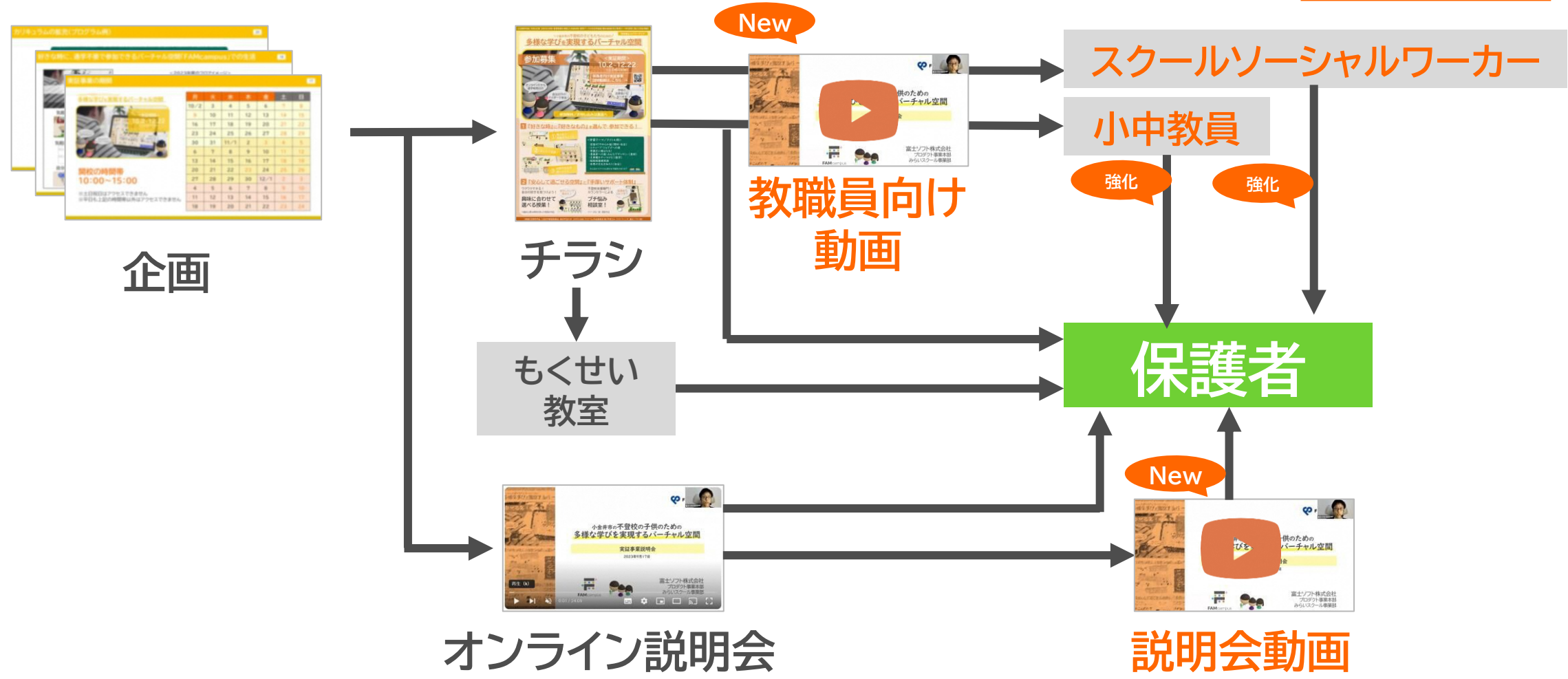
4:まとめ

2022年度取組で見た課題をもとに、
①保護者の理解促進、②体験プログラムの充実、③教育メタバースの機能強化に力を入れた。



保護者に対して教職員やカウンセラーからの告知ルートを更新し、教職員向け動画などを作成。説明会欠席者に対しても動画配信によるフォロー等のアプローチを行った。

橙色:新規で追加した施策



2:2023年度の取組(②体験プログラムの充実)

カリキュラムを拡充(昨年度:週4日間の午前2コマ/日→今回:週5日間・4コマ/日)。

子どもの興味を引くようなプログラムを用意。

午後は好きなプログラムを選択できる時間割を組んで、計57日間実施した(昨年度:24日間)。

参加したくなる授業名、
プログラムタイトル

	月		火		水		木		金	
HR	スケジュール確認等									
1限	個別学習 わからないをわかるに!		個別学習 わからないをわかるに!		個別学習 わからないをわかるに!		個別学習 わからないをわかるに!		個別学習 わからないをわかるに!	
2限	1週間の予定を決めよう!		音当て・曲当てクイズ		ワーキングメモリー トレーニング		動物について知ろう!		どんな職業があるのかな?	
昼休憩	-									
3限	SDGsについて	算数・数学の 間違い探し!	オンラインゲーム で繋がろう	やり直し理科化 学(金属編)	交通ルール	四字熟語クイズ	やり直し理科物 理(光・音編)	英語クイズ	イラスト①	やり直し国語 (文章題)
4限	英語の 間違い探し!	算数の 間違い探し!	オンラインゲーム で繋がろう	色は無限大?	IQクイズ	学び直し 一次方程式	やり直し歴史 (奈良～平安)	ウミガメのスープ をやってみよう	イラスト②	やり直し英単語

教育メタバースの機能強化として、「コミュニケーションを活発化させる機能」と「情報伝達を円滑にする機能」を追加実装した。

今回、新規で追加した機能例

<コミュニケーションを活発化させる機能>

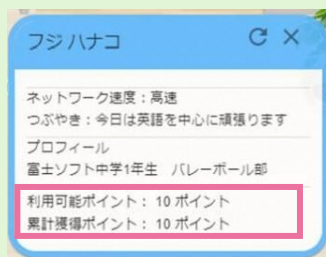
チャット



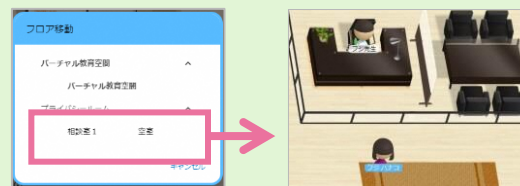
アバターカスタマイズ



ポイント機能



プライベートルーム

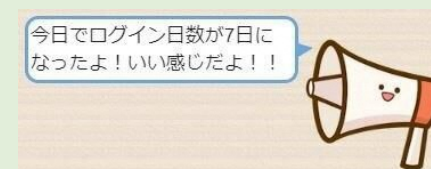


<情報伝達を円滑にする機能>

看板オブジェクト



自動応答アバター



1:研究概要

2:2023年度の活動

3:先端技術を活用した効果

4:まとめ

質的評価

<子どもたち>

- ・参加実績
- ・出席状況
- ・毎授業後の感想
- ・役に立った機能

<保護者>

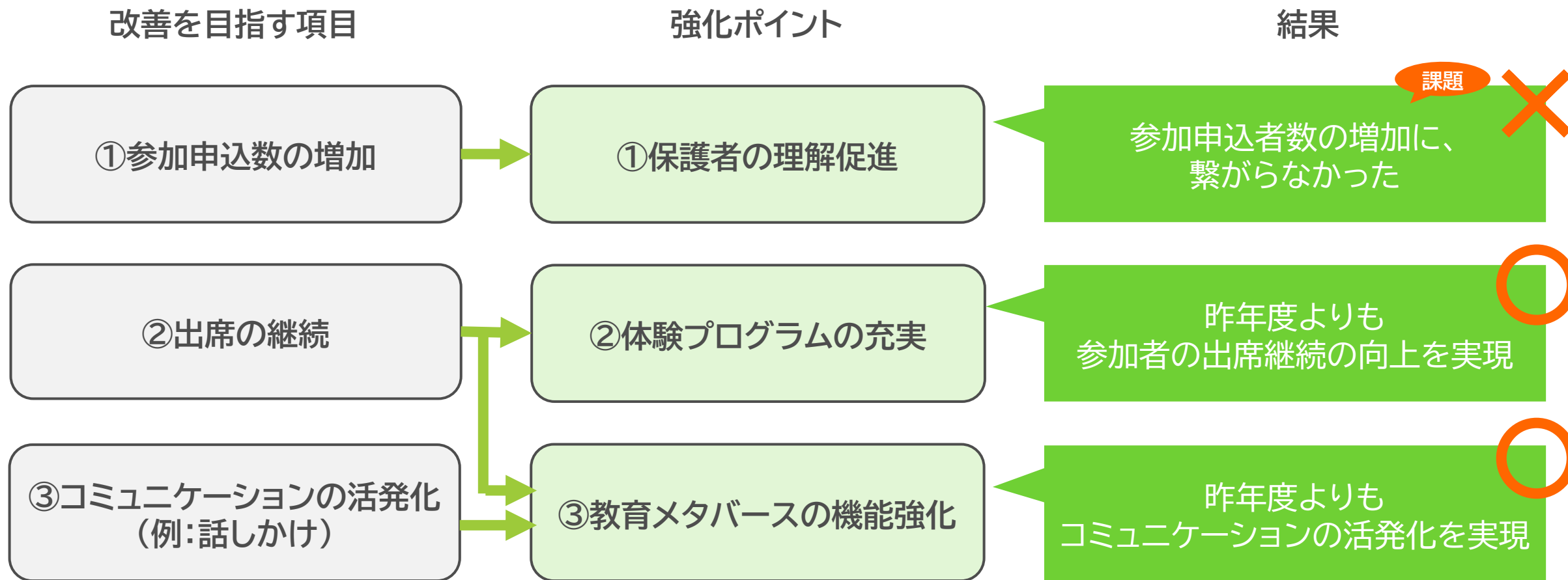
- ・子どもの変化
- ・実証事業評価

数的評価

<子どもたち>

- ・学校居心地感尺度
- ・自己肯定感尺度
- ・KINDL®QOL尺度

「出席継続の向上」と「コミュニケーションの活発化」は実現できたものの、「参加申込者数の増加」を実現することができなかった(詳細は後述)。



3:先端技術を活用した効果(参加実績)

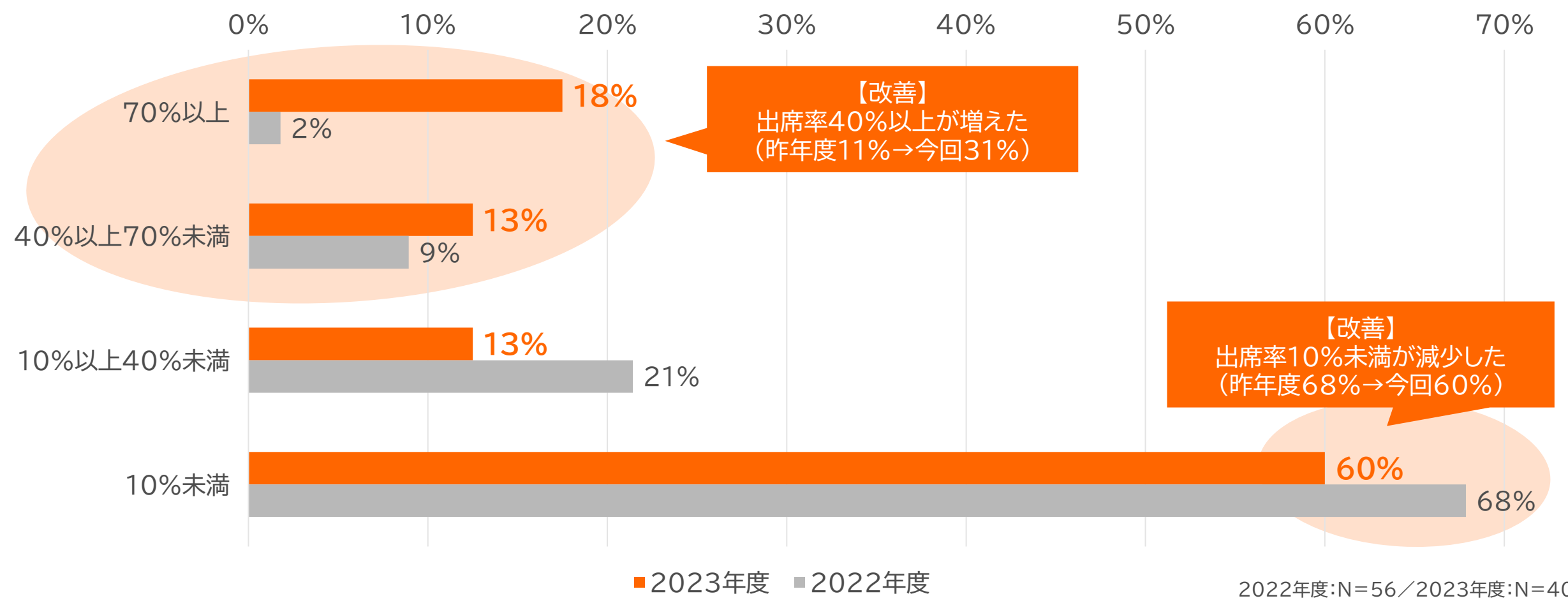
「教育支援センターを利用していない層」が多く、リピーターもおり、目的意識を持った子の割合が高かった様子。
 申込が市内不登校児童生徒の15%に留まったため、保護者への告知手段には一層の工夫が必要。

	小金井市内の 不登校児童・生徒数	実証参加申込数	教育支援センターの 利用有無
2022 年度	<ul style="list-style-type: none"> 小学生:121名 中学生:94名 全体:215名 	<ul style="list-style-type: none"> 小学生:19名 中学生:37名 全体:56名 →申込率:26% 	利用している:41% 利用していない:59%
2023 年度	<ul style="list-style-type: none"> 小学生:150名 中学生:120名 全体:270名 	<ul style="list-style-type: none"> 小学生:22名 中学生:18名 全体:40名 →申込率:15% →リピーター15名(37.5%) 	利用している:30% 利用していない:70% <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> 教育支援センターを 利用していない層が7割を占めた </div>

3:先端技術を活用した効果(子ども:出席状況)

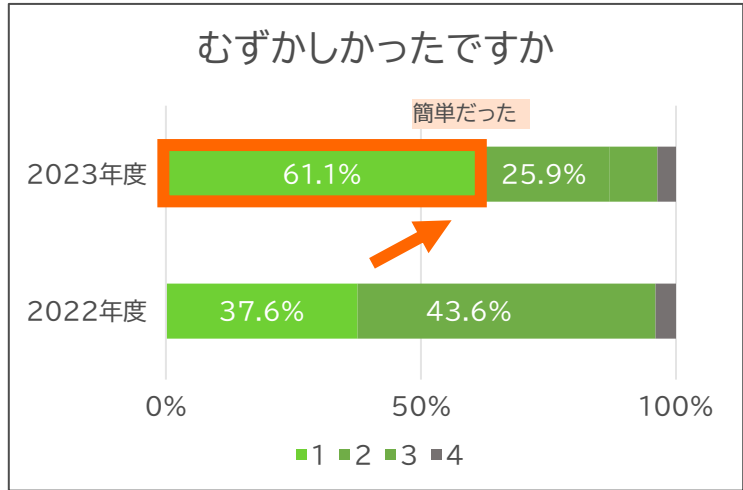
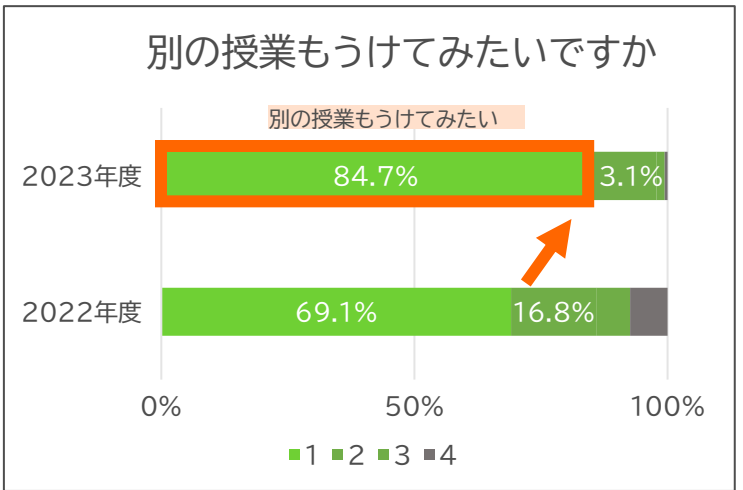
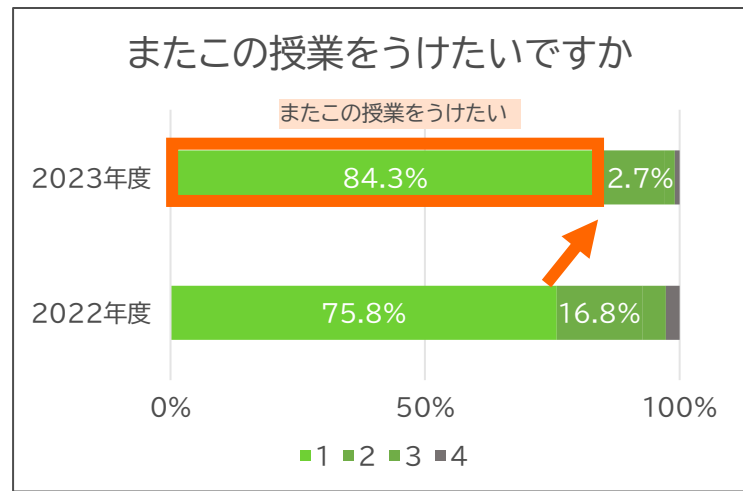
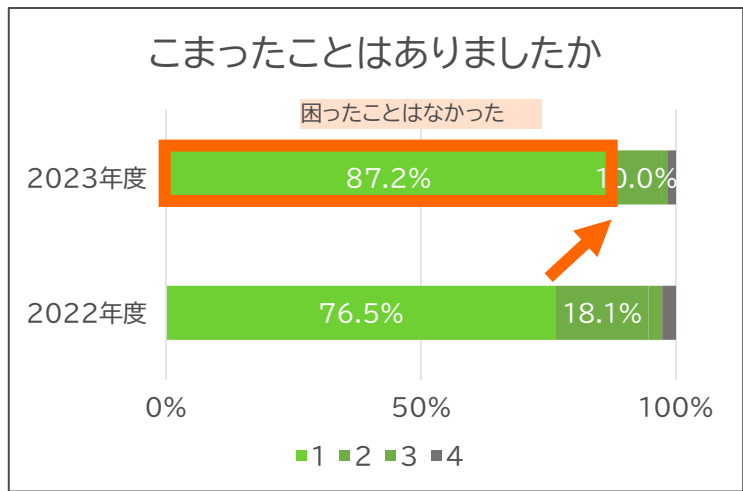
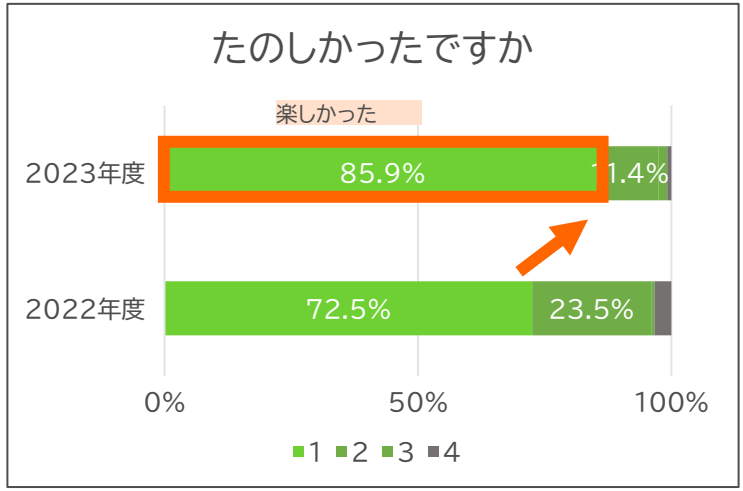
「実施期間は昨年度の2倍以上」の中、「40%以上の出席者の割合が3倍に増加」した。
バーチャル空間に楽しんで学べるカリキュラムがあれば、週5日でも継続して利用してくれることが分かった。

▼稼働期間に占める出席率の割合分布(昨年度と今年度の比較)



3:先端技術を活用した効果(子ども:毎授業後の感想)

教科学習は個別指導の色を強めることで全項目が昨年度よりも改善した。「子どもの興味に合わせた授業展開」と「学年問わずに楽しめる授業を揃えたこと」が成功要因。



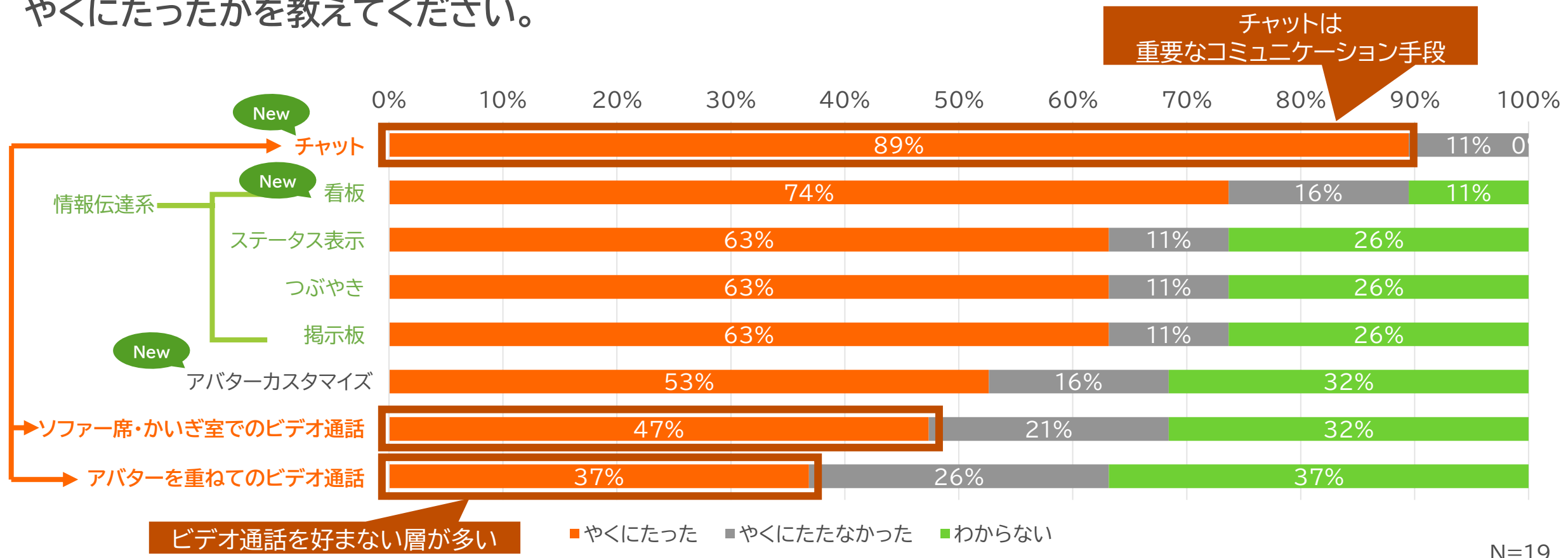
▲授業の様子
※2022年度回答数:149件/2023年度回答数:1344件

※授業後アンケート(2023年10月2日~12月22日)

3:先端技術を活用した効果(子ども:役に立った機能)

コミュニケーション活発にはビデオ通話よりも、チャットが有効だと分かった。
また、メタバース内での情報伝達手段は限られるため、空間内での伝達手段の充実は満足度に繋がる。

バーチャル空間にある機能(きのう)について、
やくにたったかを教えてください。



N=19

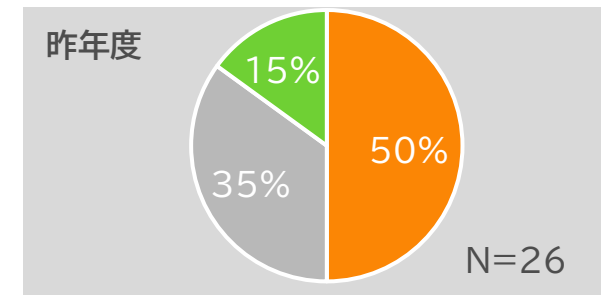
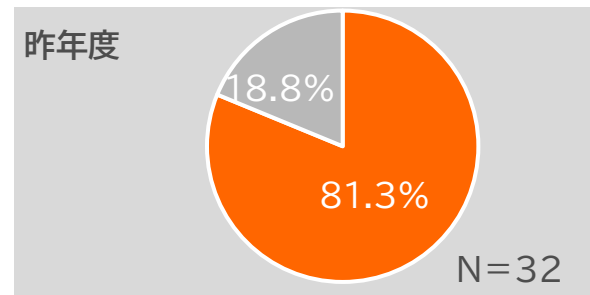
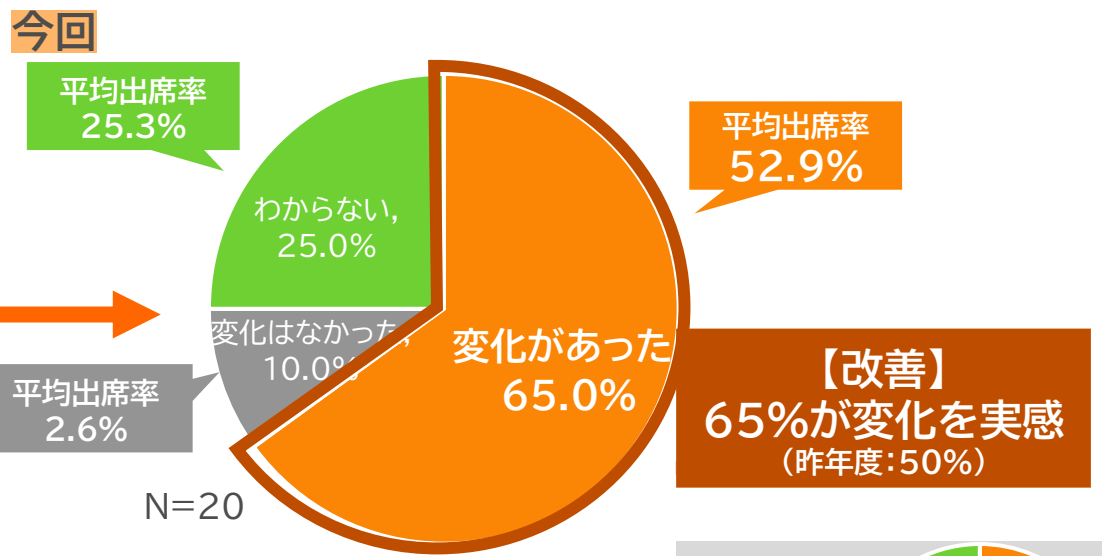
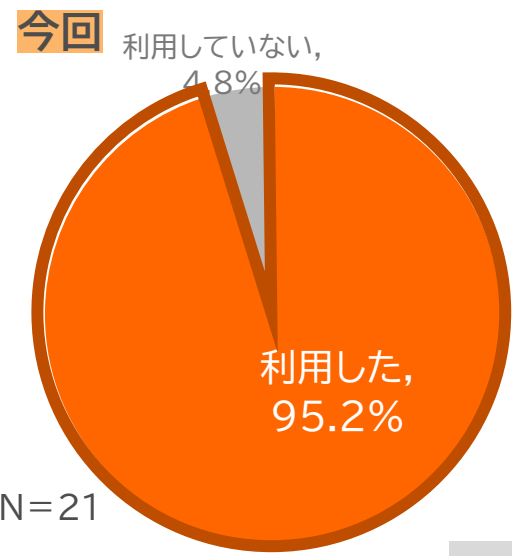
※事後アンケート(2023年12月22日~2024年1月9日)

3:先端技術を活用した効果(保護者:利用状況と子どもの変化)

保護者事後アンケートでは、「実際に参加したお子様の65%に変化が見られた」と回答。出席率が高いほど、変化も見られやすい傾向を確認した。

対象のお子様は、2023年10月2日～2023年12月22日の期間に実施されたバーチャル空間を利用されましたか

バーチャル空間を利用されたことで、お子様の様子に変化はありましたか？良かったこと、悪かったこと問わず、変化があったか教えてください。



【改善】
65%が変化を実感
(昨年度:50%)

※事後アンケート(2023年12月22日～2024年1月9日)

「興味の幅が広がった」「自信が付いた」「学校へ行きたいと思うようになった」といった、子どもの自発性が高まったというコメントが昨年度以上に目立った。

●積極性が増した、興味の幅が広がった、

- ・新しくできた友達に教えてもらったマイクラフトのコマンドに興味を持ち、書籍を買って調べるようになった。
- ・人と顔を合わせる事に恐怖心があったが、バーチャル空間では複数の人という空間が楽しいと毎日バーチャル空間の授業を楽しみにしていた。
- ・最初は何もわからない状態で始めたが、やりたい事を大人に聞いて吸収し、パソコンスキルが身に付いた。
- ・子どもは小学生ですが中学生の受ける歴史の授業がとても好きだったようで、学年など関係のない授業をまた受けてみたいと言っていた

●生活にメリハリがついた

- ・家にいるだけだとダラダラと過ごしていましたが、バーチャル空間があるとそれに合わせて朝起きるようになりました。
- ・日課としてのスケジュールができたことにより1日のリズムのメリハリがついていたと感じます。

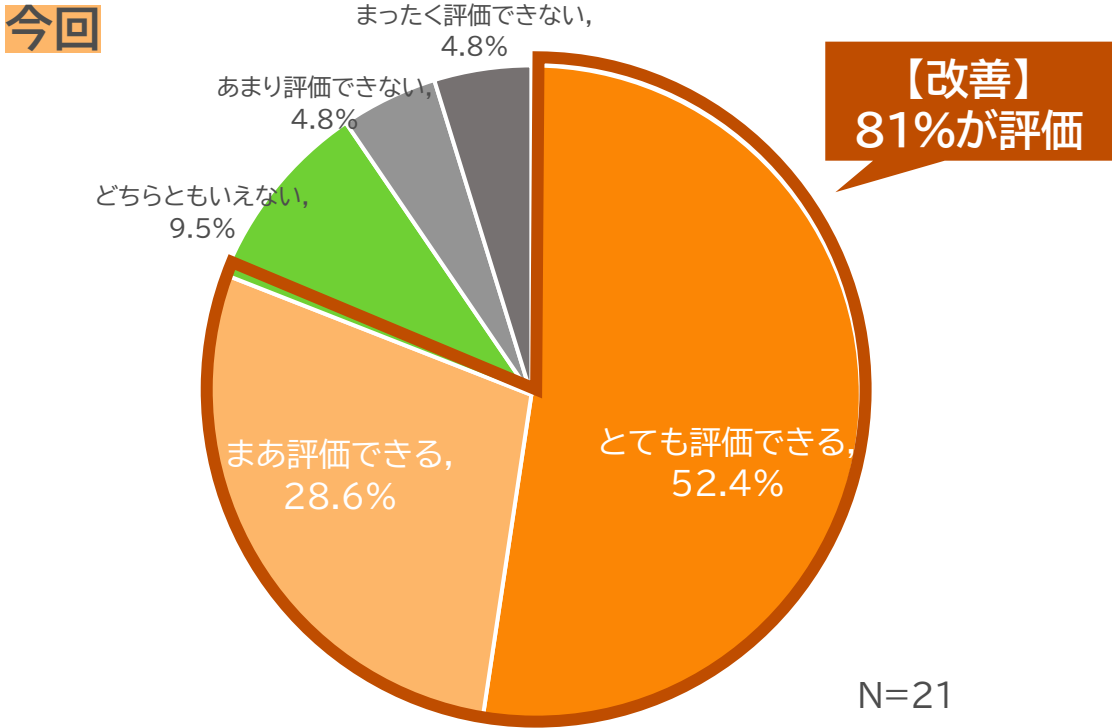
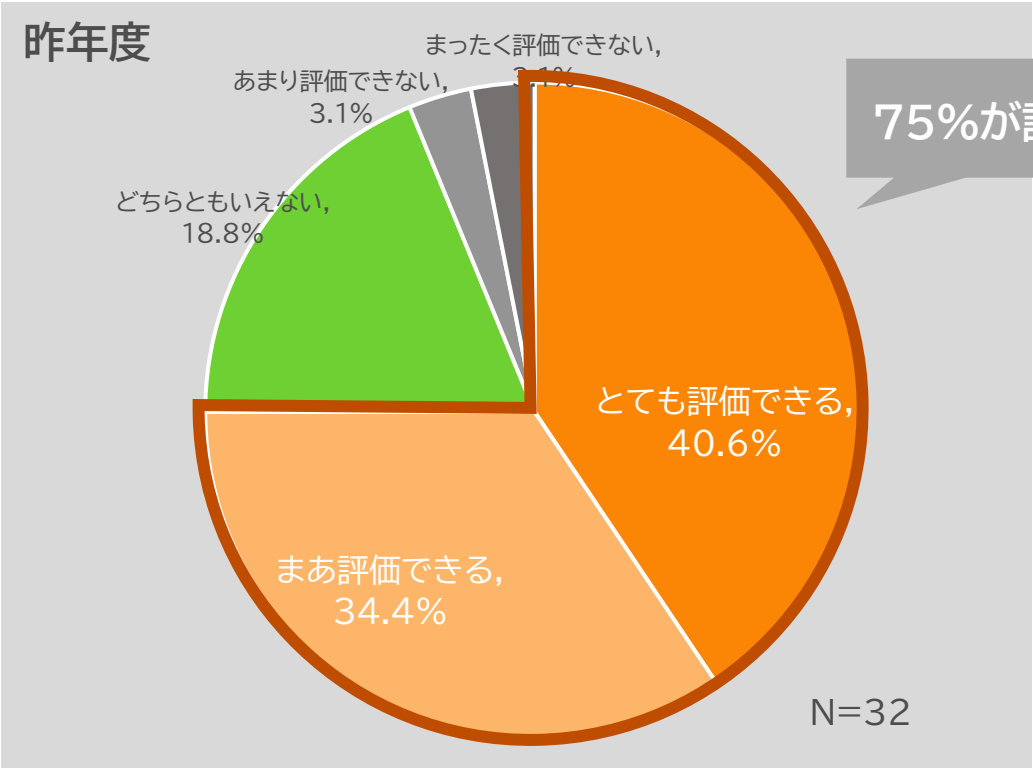
●元気になった、自信がついた、居場所ができた

- ・オンライン授業に参加することで先生やお友達と毎日会話し、学校へ通っているという自信がつき、同年代のお友達と会話することで、活力があふれ、笑顔も増え、自信もついたように感じます。
- ・どこにも居場所がなく、自宅で悶々としていましたが、この教室ができたことで、居場所を見つけ、友達を見つけ、先生にも肯定的に接してもらうことができ自信につながっており、非常に良い効果を得られています。ちなみに、本日バーチャル教室が終了してしまいましたが、その後、実際に学校へ行き先生とお話をしに行きました。非常に驚いています。
- ・本人がバーチャル空間を利用する生徒(つまり、不登校の子)が市内にこんなにもいるんだと実感し、「自分だけが不登校ではない」という安心感や肯定感をもってもらえました。

3:先端技術を活用した効果(保護者:実証事業に対する評価)

実証事業に対する評価については、「評価できる」の回答が81%に達した(昨年度:75%)。一方で、「評価できない」という層も一定数存在する。

バーチャル空間を用いた、この実証事業に対する評価を教えてください。



※事後アンケート(2023年12月22日~2024年1月9日)

昨年度と比較して、バーチャル空間を活用した教育プログラムに対する期待と将来性の高さ、不登校や引きこもり期間におけるサポートの重要性とその必要性を求めるコメントが多く集まった。

●将来性がある事業だと思う

- ・将来、都道府県単位等で事業展開ができれば、学年別(学力相応)の授業等も実施することができ、オンライン上で不登校児童・生徒のための一つの学校をつくることができるのではないかと思います、非常に将来性のある事業だと感じました。
- ・不登校になったばかりの、引きこもり期間には特に必要なサポートだったと思う。通年でこのサポートを受けたい。

●先生方の対応が非常に重要

- ・今期の実証事業では、様々なジャンルの授業があり、内容もとても充実していました。授業では、先生に名前を呼んでもらったり、チャットで回答して、それに先生の反応があって、のサイクルで、だんだん怖れずに発言できるようになっていたと思います。

●子どもを褒める機会ができた

- ・子どもが家で自分で勉強するのはなかなか難しかったのですが、メタバース頑張ってるね、と勉強関連で子どもを褒める機会にもなりました。

●学びの場の選択肢になる、居場所ができた

- ・自宅で閉じこもりがちで、自宅を出るハードルが高い中、自宅で受けられる教育プログラムは非常に有意義だった。
- ・先生が不在で、保健室登校が出来ない日は欠席をするしかない状況でしたが、バーチャル空間のおかげで「学ぶ場所を変える」ことが容易にでき、選択肢が増えました。

●時々内容の一新が必要かもしれない

- ・12月になると授業内容が大体分かり、飽きたのか参加率が低くなったので、2ヶ月くらいで内容が一新されると良いと思った。

1:研究概要

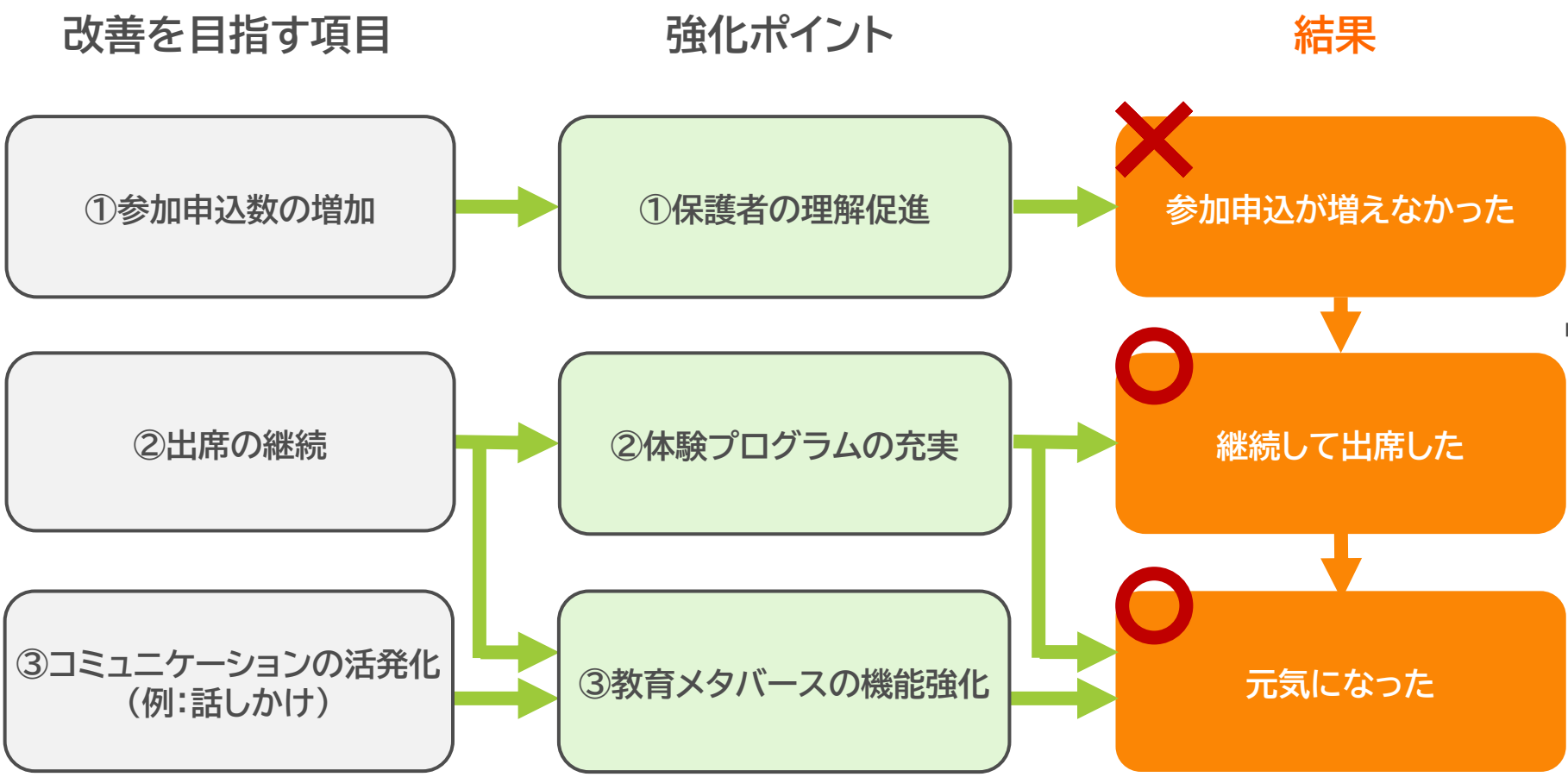
2:2023年度の活動

3:先端技術を活用した効果

4:まとめ

4:まとめ(2023年度活動の成果と課題)

不登校支援においては、バーチャル空間で過ごすことで一定の効果을あげることに繋がると分かった。今後に向けては参加申込数を増やすために、どれだけ多くの保護者に周知できるかが肝要となる。

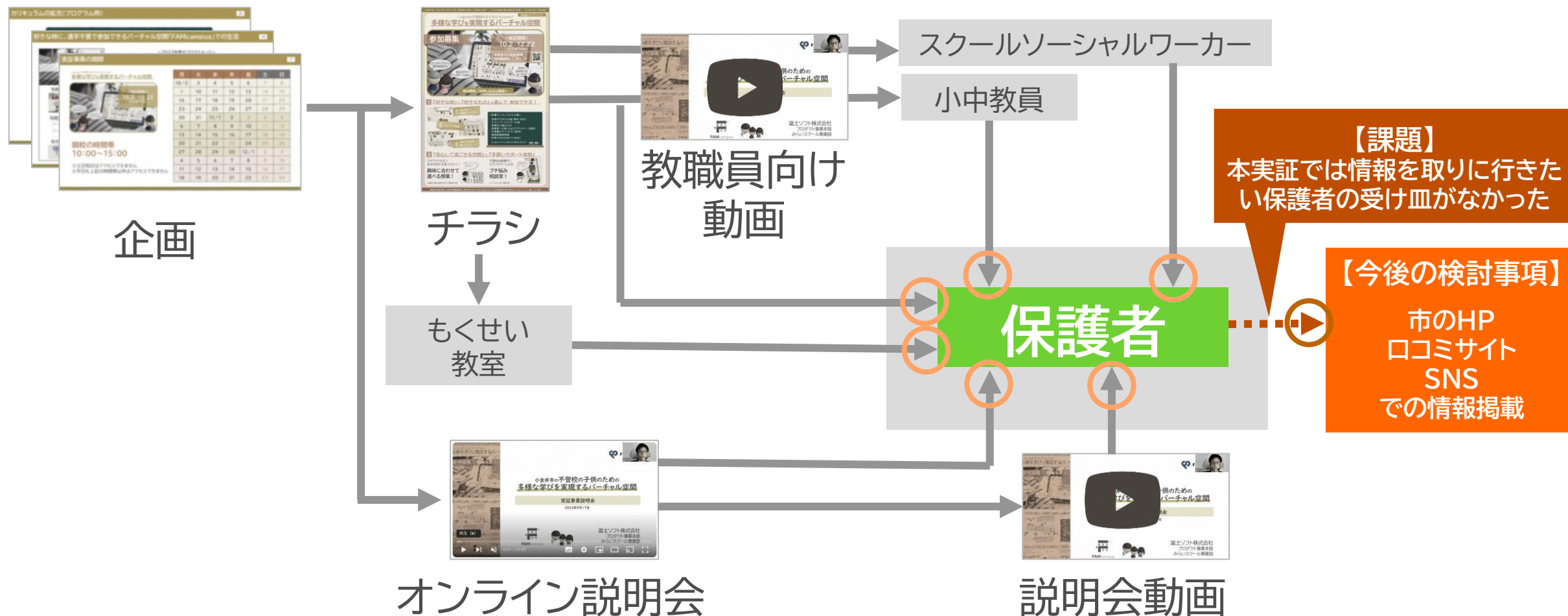


次スライドで補足

【課題】
 参加申込数増に向けた
 施策の検討が必要
 →例:保護者連絡網
 →例:学級担任からの連絡

【成果】
 「空間」と「中身」があって、
 利用すれば、子どもの
 自信や自発性を高めること
 ができる
 →例:新しい学びに挑戦する
 →例:別室登校に挑戦する
 →例:笑顔が増える
 →例:自信が生まれる

困っている保護者が、能動的に「行政の不登校支援策の情報を取得できる環境」を提供できなかった点が課題。不登校支援に関する情報を求める保護者の“受け皿”を幾つか用意することも今後の検討事項に加えたい。



Fin

教育委員会の今後の日程

令和6年7月9日

会 議 名	日 時	場 所
市教育委員会訪問	7月11日(木) 10時15分	第一中学校
東京都市教育長会研修会	7月24日(火) 午後2時30分	東京自治会館
令和6年 第8回教育委員会定例会	7月30日(火) 午後1時30分	第一会議室
東京都市町村教育委員会連合会 第2回研修推進委員会	7月31日(水) 午後2時	東京自治会館
東京都市町村教育委員会連合会 第2回常任理事会・理事会	8月23日(金) 午後1時・2時	東京自治会館
令和6年 第9回教育委員会定例会	8月27日(火) 午後1時30分	801会議室
令和6年 第10回教育委員会定例会	10月10日(木) 午後1時30分	801会議室